

かがやき松山大賞

第7回全日本少年少女空手道選手権大会 中学生軽量級優勝



大下 祐也 選手 (松山東高1年)

4月に東京都で開催された同大会で優勝した大下選手に6月28日、かがやき松山大賞が贈られました。

小学1年生の時に友達と一緒に道場を見学したことがきっかけで空手を始めた大下選手は「空手の一番の魅力は正義感が強くなることです。今後も空手を続けて、将来は立派な指導者になりたいです」と抱負を述べました。



医療と教育の連携発信を

子どものコミュニケーション力育成について話し合う「医療と教育の連携フォーラム」が7月3日、ひめぎんホールで開催されました。フォーラムでは医療と教育を結ぶ育成コミュニティボランティアを育成し、松山をモデルケースとして全国に発信しようと呼び掛け、3000人を超す参加者は熱心に聞き入っていました。

市政スポーツ

「ひめキュン」里島めぐりのイメージキャラに

9つの島を舞台に各種イベントを開催する「まつやま里島ツーリズム連絡協議会」のイメージキャラクターに愛媛のアイドル「ひめキュンフルーツ缶」が選ばれ、7月8日市役所を訪問しました。野志市長は「夏の暑さに負けず島を元気にしてください」と話すと、ひめキュンのさくらこさんは「若い人に島に来てもらえるよう頑張ります」と答えました。



ほくたち 大好きな松山をPR わたしたち まつやま観光キッズです

地元の小学生が道後温泉本館周辺で観光客をもてなす「まつやま観光キッズ」の任命式が6月25日、道後温泉本館前で行われ、道後・湯築小学校の5・6年生65人が参加しました。野志市長から観光キャップを受け取ると、尾上裕太君(道後小6年)と佐藤薫子さん(湯築小6年)が観光キッズを代表して「観光客に道後の良さを感じてもらい、また来たいと思ってもらえるよう頑張ります」とあいさつしました。

観光キッズは11月までの土曜日、道後の観光スポットで活動しています。



湯築小学校の観光キッズ



道後小学校の観光キッズ

お問い合わせは、観光産業振興課 ☎948-6557・FAX 934-1764へ

水問題に関する協議会(幹事会)の状況説明会を開催

県、西条市、新居浜市、本市で黒瀬ダム水資源の有効活用などについて話し合う「水問題に関する協議会」の協議状況の説明会を行います。

【日時】8月21日(日)14~16時
【会場】コムズ(三番町六丁目)5階大会議室

【対象】市内に在住または通勤・通学している人

【申し込み】8月12日(金)必着 までにはがき、ファクス、eメールで住所、氏名、電話番号を〒790 8571 水資源担当部長付 @mizushigen@city.matsuyama.ehime.jp

お問い合わせは、水資源担当部長付 ☎948 6947・FAX 934 1886へ

9月1日から小学1~3年生の入院診療分が無料に

子どもの医療費無料の範囲を拡充

安心して子育てができる環境づくりを推進するため、現在実施している小学校就学前までの子どもの入院・通院医療費の無料化に加え、9月1日からは、払い戻し申請により小学1~3年生の入院にかかる保険診療分が無料になります。また名称が「乳幼児医療助成制度」から「子ども医療助成制度」に変わります。

【対象】本市に住民登録(外国人登録含む)がある小学1~3年生(9歳になる年度末まで)で、平成23年9月1日以降に入院をした人

※生活保護受給者、母子家庭・重度心身障害者医療受給者は該当しません

【申請方法】病院で入院費の自己負担分を支払った後、本市に住民登録がある保護者が直接、領収書(診療点数など)が分かるもの。コピー不可、対象者(子ども)の健康保険証、振り込み先となる保護者名義の通帳、印鑑、医療費支給申請書(子育て支援課・市民課・支所にあり)を持って、子育て支援課(市役所別館2階)、市民課(市役所本館1階)または支所へ

お問い合わせは、子育て支援課 ☎948 6888・FAX 934 1814へ

地域交流センターがリニューアルオープン 8/7日 供用開始

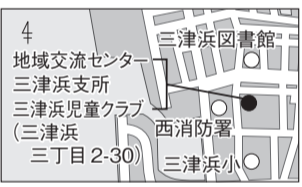
市民の交流や地域活動の促進を図る拠点として、市西部に整備を進めていた「地域交流センター」が完成し、8月7日(日)から供用を開始します。

同センターは、各階への授乳室設置のほか、バリアフリー化により子どもからお年寄りまで、誰もが使いやすい、また太陽光発電や雨水利用設備を取り入れるなど、環境にもやさしい施設です。ぜひご利用ください。

会議室(有料)・使用区分など	
2階	大会議室(200人) ※部分使用可
1階	中会議室(80人) 小会議室(50人)
使用区分	午前(9~12時)
	午後(13~17時)
	夜間(18~22時) 全日(9~22時)
閉館日	金曜日・12/29~1/3

三津浜支所・三津浜児童クラブが移転

厚生福祉センターの閉館に伴い、三津浜支所と三津浜児童クラブは、8月8日(月)から地域交流センター内に移転します。



お問い合わせは、地域交流センター・三津浜支所 ☎951 1157・FAX 951 4992、三津浜児童クラブ ☎948 6411・FAX 934 1814へ

地域で育つ松山っ子

第12回 和氣小学校

児童数 男 371人・女 341人・計 712人 (平成23年7月1日現在)

「波も静かな和氣の浜」「松もみどりの太山寺」と和氣小学校の校歌に歌われている和氣地区。校区には四国八十八カ所の札所が二つもあり、お遍路さんをおもてなしするお接待の心が深く根付いています。子どもたちは、人と自然文化に恵まれた環境で「みんなががんばる」を合言葉に元

みんなで守り、受け継ぐ和氣のまち

気よく育っています。お接待は、数百年続く四国の文化であり、校区にも受け継がれてきた素晴らしい精神文化です。子どもたちは、毎年、春と秋に太山寺と円明寺でのお接待に参加し、恥ずかしくしながらお遍路さんにお茶を勧めます。お茶を受け取ったお遍路さんは、お辞儀をして、「どうもありがとう



絶滅が心配される植物を大切に持ち帰る児童



お遍路さんを一生懸命にお接待

松山っ子の声

和氣浜に絶滅しような生き物があることを知って、ぼくたちの世代で絶滅しないよう大事に育てていきたいです。(6年男子)

お接待する時は、ドキドキしたけれど、お遍路さんが話し掛けてくれたのでうれしかったです。(6年女子)